

## 校 園 長 室 か ら



### 学 校 教 育 目 標

#### 共 に 学 び 共 に 伸 び る 子 ども

- ・いのちを大切にできる子ども
- ・だれとでも仲良く協力し合う子ども
- ・意欲をもち学習する子ども
- ・ねばり強くはたらく子ども

令 和 6 年 5 月 31 日 第 7 号

#### 茶 寿

あちらこちらの教室を見回っていますと、各学年の学習内容に応じた文字の学習をしています。1年生は、ひらがな。四つに区切られた小さな黒板に、丁寧な文字でひらがなが示され、所々に鉛筆を進める方向を示した赤い矢印があり、一目で書き方がわかるように工夫されています。

2年生以上の学年では、その学年で習う漢字を空気中に人差し指をかかげ、エアで書いてその後紙に書いて、を繰り返しています。

日本語は、つくづく難しいと思います。

ひらがながありカタカナがあり、漢字も無数にあって、一つの漢字でいくつかの違う読み方がある。

ところで、70歳のことを「古稀」と呼んだりします。70歳まで長生きすることは、珍しいところから生まれた呼び名のような気がします。

77歳は、「喜寿」。「喜」の古い漢字で「𠄎」という書き方があるのでその名になりました。80歳は、「傘寿」。傘の漢字の中に「八十」が隠れているから。このあたりの日本語の遊びは面白いと思います。

「盤寿」という呼び方もあります。将棋の棋士が81歳になったら祝うもので、将棋盤のマス目が81個あることから。

「白寿」は99歳のお祝い。なぜ「白」なのか。「百」の漢字の上にある「一」を取り除くと「白」。99歳は百に一足りないのだ。

言葉を勉強するには遊び心が必要だと思います。では、表題の「茶寿」は何歳のお祝いでしょうか。ネットで調べると簡単に出てきますが、「茶」の漢字をばらしてじっくり考えてほしいなあ。ちょっと難しいけど。